

春名候補 山陰路に春を呼ぶ大奮闘

雲南市では二人が入党決意、米子では高校生からもエール



春名なおき参院比例予定候補は、6日・7日と山陰入りし、6日には遠藤秀和選挙区予定候補とともに島根県雲南市で街頭演説や「つどい」、7日には米子市で街頭演説や米子市商工会議所との懇談など多彩な活動を繰り広げました。

雲南市では、「つどい」で春名予定候補の話聞いた60代ご夫婦が「やっぱり安倍を倒さなきゃいけん」と快く入党されました。(写真は「つどい」で訴える春名予定候補)

また、米子市商工会議所の松本専務と懇談の懇談では、「アベノミクスの実感はなく、消費税10%は想像もつかない」などの声が紹介され、さらに合併に揺れる「米子シャープ」の300人

の従業員の雇用確保問題にも話が及びました。

米子市の街頭演説会場では、近くの会場で行われていた「18歳選挙権の勉強会」に参加していた高校生が立ち寄り、最後まで聞いてくれた高校生や戦争法廃止の署名に応じてくれた高校生もおり、超盛り上がった街頭演説会になりました。

岩国市で大平議員の国会報告会 愛宕山米軍住宅の調査も

危険な基地機能の強化、低空飛行訓練の深刻化も

大平喜信衆議院議員は5日、日本共産党東部地区委員会が開催した「国政報告会」で2月25日に衆議院予算委員会分科会での米軍岩国基地問題での国会論戦の報告をしました。

報告の中で大平議員は、①来年にもねらわれている厚木基地からの艦載機移駐、F35ステルス戦闘機の配備がおこなわれれば、岩国が巨大出撃基地とされること、②基地周辺はもちろん、低空飛行訓練による中国地方全土の爆音被害が想像を絶するものとなること、③それに対して日本政府が、「米軍の運用」という表現でアメリカいなるの姿勢を取り続けていることを指摘しました。

岩国基地問題は、中国地方全体の大きな政治課題としてさらに重要性を増しています。

☆前回のニュースで紹介した「シール投票の結果」ですが、広島ではなく東京の市民団体の取り組みでした。お詫びして、訂正します。

☆中国ブロックのホームページに、「はるトーク&はる局」という動画コーナーを立ち上げています。ご覧ください。

